

事例研究～中国ビジネス法務

北京市大地律師事務所 / 日本部
パートナー弁護士 法学博士 熊琳

第150回 外商投資情報報告制度の概要

2020年1月1日より実施される「外商投資法」では、外商投資情報報告制度(以下「情報報告制度」という)の確立について規定し、外国投資者または外資系企業は商務所管機関に投資情報を提出しなければならないとされています。商務部より11月に「外商投資情報報告弁法」および「外商投資情報報告にかかる事項に関する公告」の意見聴取稿が公布され、まだ正式に発効した法規とはなっていませんが、情報報告制度の具体的な執行方法はすでに確認可能となっているため、今回はこれについて解説いたします。

◇商務機関による外資系企業の管理方式の変遷

1979年以来、長年にわたって「中外合弁企業法」が施行されてきた中で、商務機関の外資系企業の設立や変更などの手続きにおいて、「審査認可制」が実行されてきました。この体制のもとで、大量の書面資料の提出が求められるうえ、手続き完了までにかかる所要時間も長いことが、企業にとり負担となっていました。その後2016年10月に、ネガティブリストの範囲外の外資系企業の設立および変更については「審査認可制」から「届出制」に変更され、一部の地方ではオンライン届け出方式が導入されるようになりました。これにより手続きの所要時間が大幅に短縮されたものの、依然として書面での資料提出を行う形で届け出が行われる地方も少なからず残っています。このような現状の中、来年から新たに情報報告制度が実施されることにより、全国的にオンライン報告を主流とする新体制が形成され、外資系企業の負担がより軽減される見込みがあります。

◇情報報告制度の概要

まもなく施行されるこの新制度について、現時点までに公布されている文書から把握される概要は次の通りです。

1. 情報報告には以下4種類のものがある。

①初回報告

外国投資者が中国国内で外商投資企業を設立する場合、もしくは中国国内の非外商投資企業に対する持分合併買収を行う場合、商務機関に以下の内容を含めた初回報告を提出することを求める。

(I) 企業の基本情報

(II) 投資者および実質的支配者の情報

(III) 合併買収の基本情報(合併買収によらない場合は提出不要)

(IV) 当局が提出を求めるその他の情報

②変更報告

外商投資企業の関連情報への変更が発生したとき、商務機関に以下の内容を含めた変更報告を提出することを求める。

(I) 企業の基本情報の変更

(II) 投資者およびその実質的支配者に関する情報の変更

(III) 持分、株式、財産持分またはその他類似する権益に関する情報の変更

(IV) 当局が提出を求めるその他の変更に関する情報

③年度報告

外商投資企業設立の翌年から年度報告の提出を開始し(設立初年は提出不要)、以下の内容を含める。

- (I) 企業の経営情報
- (II) 企業の資産・負債の情報
- (III) 企業の国内投資および支社の情報
- (IV) 企業が取得している関連業界の許可の情報
- (V) 当局が提出を求めるその他の情報

④抹消報告

(I) 外商投資企業が合併、分割、終了に伴い企業の登記抹消手続きを行う際、抹消報告を提出することを求めるが、その内容は現時点ではまだ明らかにされていない。

(II) 情報報告は「オンライン企業登記システム」や「国家企業信用情報公示システム」よりオンラインで提出する。

(III) 初回報告の報告義務主体は外国投資者とされるため、日本の本社が相応の義務を負うこととなる。初回報告以外の3種については、現地法人が報告義務主体となる。

(IV) 今後商務機関より情報報告の入力フォームが公布され、企業はそれに基づいて各地方の商務機関により異なる要求に従って入力することが求められる。

◇ 日系企業の対応へのアドバイス

情報報告制度は、今後中国政府が外資系企業に対する管理を行ううえで重要な手段の一つとなるものであり、本社、現地の両方で適切に対応することが必要となります。新制度の実際の執行方法は地方により異なる可能性があるため、企業では地方政府への事前確認を行われることをお勧めいたします。

《北京・天津・河北》

王府井の歩行者天国、北へ延伸＝北京

22日付の中国紙・北京晩報（3面）によると、北京市の繁華街・王府井の歩行者天国の北端が金魚胡同から灯市口大街まで344メートル延伸し、20日に一般公開された。歩行者天国の長さは計892メートルとなった。

この日は平日の金曜だったが、各店舗は大幅に客足と売り上げが増加。延伸部分に面する百貨店「銀泰in88」は客足が55%増、売り上げが65%増、既存の歩行者天国にある「王府井百貨大楼」はそれぞれ18%増、90%増だった。

銀泰in88の担当者は、「以前の買い物客は金魚胡同止まりだったが、歩行者天国の北延伸で予想以上の効果があった」と述べた。北延伸に合わせて、周辺の百貨店やショッピングモールではセールやイベントが開催された。（北京時事）

中車大連、ナイジェリア向けの気動車完成＝輸出は初めて

中国遼寧省大連市の鉄道車両メーカー、中車大連機車車両（中車大連）は22日、ナイジェリア・アブジャの都市鉄道向けに気動車2列車を完成させた。中車大連が独自に気動車を開発したのは初めてで、輸出も初となる。気動車は最高時速100キロで走行する。大連日報（電子版）が23日伝えた。

中車大連は2018年、鉄道建設会社の中国土木行程集団（中土集団、北京市）とともに、アブジェの都市鉄道建設事業で、気動車12列車を受注した。アルミ合金製で内燃機関と電気駆動システムの両方を備えている。車両の信頼性、経済性、動力学性能はいずれも内外で先進的なレベルにある。

中車大連と中土集団は1997年、ナイジェリアに機関車50台を初めて輸出。13年以降はほぼ毎年、同国の鉄道向けにオーダーメイド式の製品を提供している。（時事）